

徹底した企業サポートとアクセスの飛躍的な向上 京都府

大学、研究機関や多様な産業の融合

京都府では、大学や研究機関、多様な企業の集積を生かし、「豊かな産業を守り創造する京都府」の実現を目指している。企業同士のマッチング、先端技術の交流、従業員の採用支援に取り組み、積極的な企業活動への支援体制を整えている。

京都府は関西文化学術研究都市を有する南部地域、京野菜などの農産物の生産地である中部地域、大規模工業団地や日本海に面した重要港湾を持つ北部地域で形成される。

南部地域では今後予定される新名神高速道路の全線開通に合わせ、各地域で産業用地の創出をはじめとするまちづくりが進められている。中北部地域については、近年の高速道路網の整備による交通ネットワークの飛躍的な向上により、阪神地域や山陰地方、中部・北陸地方へのアクセスが確保され、急速にBCPの観点から企業立地が進んでいる。



■京都府のデータ

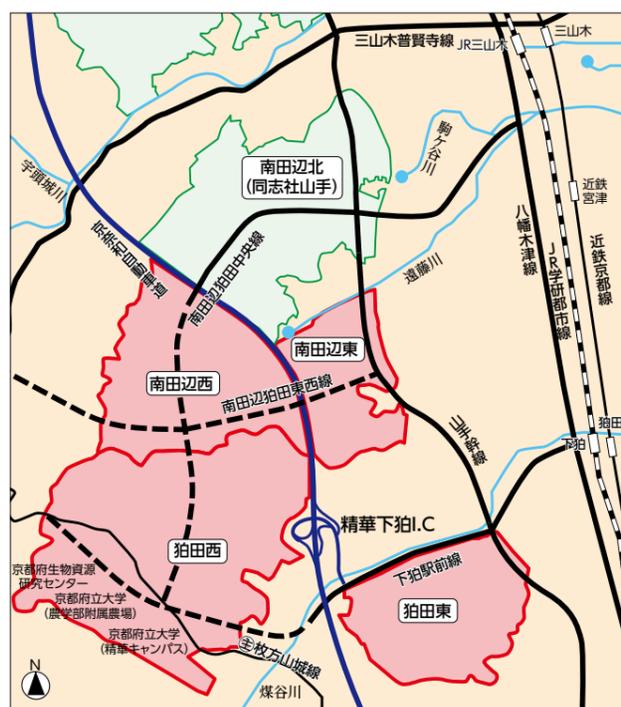
面積：4,612km²
 人口：2,521,376人（2024年9月1日現在・推計人口）
 府庁所在地：〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町
 TEL：075-451-8111（代）
 ホームページURL：https://www.kyotofuyouchibank.com

京阪神からのアクセス良好な京都府南部地域の開発計画 — 関西文化学術研究都市「南田辺・狛田地区」 —

京都府、大阪府、奈良県にまたがる「関西文化学術研究都市」では、研究開発型産業施設の立地が急速に進んだことから、産業施設等の増加を図り、更なる企業立地ニーズに応えるために、京田辺市・精華町区域の「南田辺・狛田地区（約230ha）」において基盤整備を実施し、関西文化学術研究都市の機能連携による新たなイノベーションの創出を図る。

この地区は、京田辺市に位置する南田辺西地区（面積約60ha）と南田辺東地区（面積約35ha）、精華町に位置する狛田西地区（面積約85ha）と狛田東地区（面積約50ha）の、大きく4つの地域から構成される。

既存の京奈和自動車道に加え、全線開通が予定される新名神高速道路へのアクセスが容易。また、エリア内では、幹線道路から各地区を繋ぐ産業道路の整備が予定されている。鉄道路線では、近鉄・JRのダブルアクセスに加え、近隣には北陸新幹線新駅も開設予定だ。



アクセス向上で続々と立地決定 — 「長田野工業団地アネックス京都三和」 —

福知山市の「長田野工業団地アネックス京都三和」は小区画（0.6ha）から大区画（1.1ha）まで多様な3区画を分譲中で、製造業、物流業15社が立地する府営工業団地だ。

舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道の開通を受けて京阪神方面や近畿・中部・北陸・中国方面へのアクセス

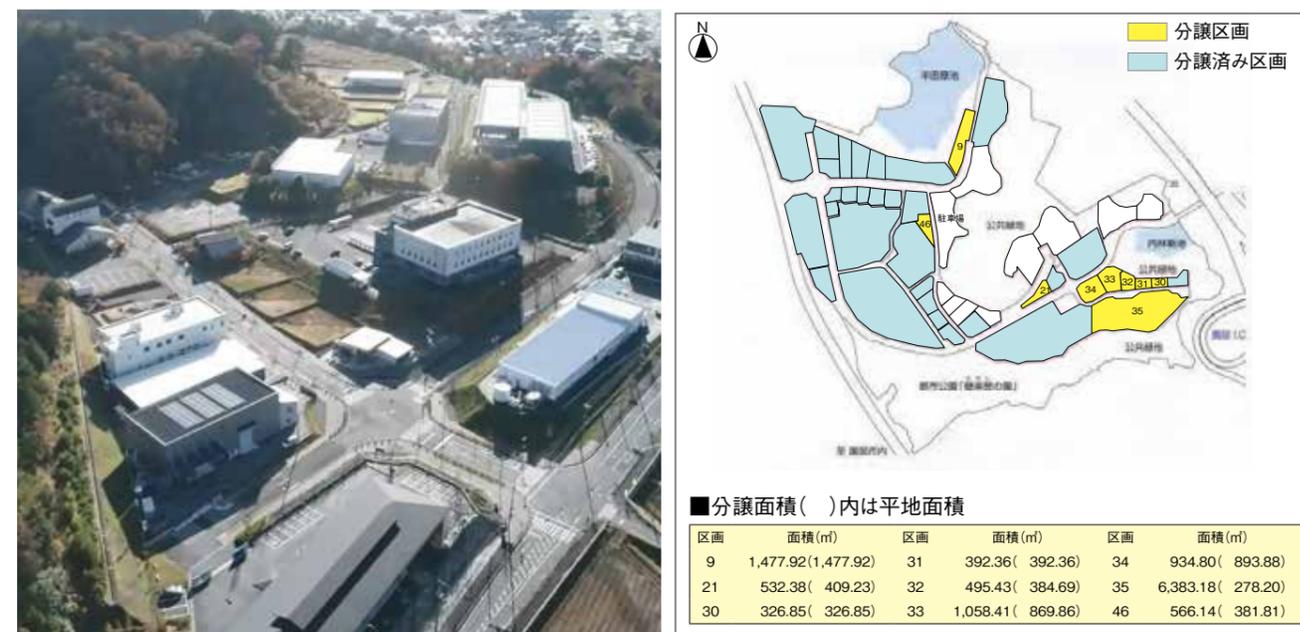
が格段に向上したことにより、日本海側と京阪神を繋ぐ物流のリダンダンシー確保の面でも魅力も増しており、近年続々と企業が進出している。また、府市による優遇制度も充実しており、府内でも最大規模の補助制度を活用することができる。



新しい「ものづくり」を推進する産業拠点 — 「京都新光悦村」 —

南丹市の「京都新光悦村」は、京都ならではの「伝統と先端産業の融合」をコンセプトに、新しい「ものづくり」を推進する府営産業拠点だ。用地は0.03ha～0.6haと小規模な区画で職住一体の操業環境が特徴。最寄りのJR園

部駅から京都駅までは約30分強、園部駅～新光悦村間を結ぶバス路線が2019年10月に開通。また、京都縦貫自動車道園部ICに隣接し、車で京都市まで約30分、大阪市内まで約55分と優れた交通アクセスが強みだ。



※本稿掲載の写真、図は京都府の提供

多彩な企業が集積するまち 一京都市一

京都市は、文化芸術・観光都市としての顔をもつ一方、日本を代表する「ものづくり都市」でもあり、伝統から先端産業、中小・ベンチャー企業から世界で活躍する大企業まで、多彩な企業が集積している。また、36の大学・短期大学に加えて、研究施設が多く立地していることから産学公連携の取組が盛んだ。中でも、「桂イノベーションパーク地区」にある「京大桂ベンチャープラザ」には、研究開発に取り組む中小・ベンチャー企業が多数入居しているほか、民間主導のビジネス・研究開発拠点である「京都リサーチパーク地区」には、産業支援機関のほか、ICTや医療・バイオ分野を中心に多彩な企業が集積している。

また市南部には、ものづくり企業の集積に力を入れている「らくなん進都（高度集積地区）」や「横大路地区」がある。「らくなん進都」には、京セラや任天堂等の大企業や、独創的な技術を持つ中小・ベンチャー企業が集積しているほか、産学公連携による研究開発拠点「京都市成長産業創造センター（ACT 京都）」があり、環境・エネルギー分野等の産学共同プロジェクトを推進している。「横大路地区」は、高速道路へのアクセスが良好で、大部分が工業地域であることなどから企業立地に適した環境が整っており、現在、土地区画整理事業において、



地権者の意向を踏まえながら、産業用地の創出を進めている。加えて、2023年度には、京都駅南エリアとらくなん進都鴨川以北エリアを「オフィス・ラボ誘導エリア」に設定し、都市計画の見直し等による規制緩和と補助金制度の大幅な強化等により、企業立地を強力に促進する「京都サウスベクトル」を始動した。

京都駅南オフィス・ラボ誘導プロジェクト 『京都サウスベクトル』とは？

京都駅からアクセスが抜群で、京都を代表する企業も立地する「京都駅南エリア」と「らくなん進都鴨川以北エリア」を「オフィス・ラボ誘導エリア」に設定し、次のインセンティブを展開します。

オフィスビルやラボ施設の
高さ、容積率等の規制を
大胆に緩和！

- 併せて総合設計制度、地区計画制度等を活用し、更なる規制緩和も可能！

京都でのビジネス展開を
強力に支援！
初進出も大歓迎！

- 補助金制度を大幅に強化！
- ニーズに合わせて検討段階から進出・定着までワンストップで支援

- <立地支援>**
- 賃貸用事業施設等立地促進制度補助金（最大1億円）**
テナントオフィスビルやレンタルラボ施設を
新增設する場合、建物・償却資産の
固定資産税・都市計画税相当額×100%×2年分補助
 - 本社・工場等新增設等支援制度（最大1億円）**
製造業・IT等の企業が、本社機能を有する事業所や工場・開発拠点等を新增設する場合、
固定資産税・都市計画税相当額×最大150%×3年分補助
 - 市内初進出支援制度（最大2,000万円）**
市内で初めてオフィスを構える企業に
**市内居住の正社員数（最大50人）×
最大20万円/年度×2年分補助**

**オフィス・ラボ誘導エリアの範囲と
エリア内の見直し後の都市計画の概要**

15年ぶりの
大胆な
見直し！

	京都駅南部			らくなん進都 (鴨川以北)
	1	2	3	4
用途地域	商業地域	商業地域	商業地域	工業・準工業地域
建蔽率	80%	80%	80%	60%
容積率	400%	600%	400%	最大1000%
高さ規制	25m	31m	20m	無指定

都市計画の見直しエリア